

平成30年度 青果物輸出販売促進報告書

平成31年 4月1日

農林水産省
生産局長 殿

JA全農インターナショナル(株)
米穀・園芸部

平成30年度海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : シンガポール

実施期間 : 平成31年3月22日(金)～3月31日(日)

(販売促進活動に係る出張 : 平成31年 3月21日～ 3月23日)

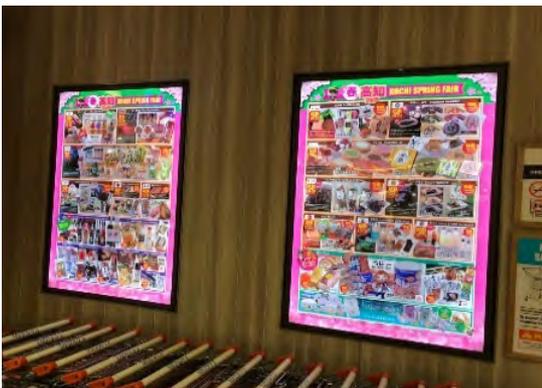


「シンガポール明治屋全農フェア」

1. 『シンガポール明治屋全農フェア』について

- (1) 期間 : 平成31年3月22日(金)～3月31日(日)
- (2) 場所 : 明治屋シンガポール
- (3) 出席者 : 明治屋シンガポール 籠島店長、フィリップバイヤー
JA全農インターナショナル(株) 米穀・園芸部 美田
- (4) 内容 : 明治屋シンガポールでは年間を通じ、毎月テーマを決めて全農フェアを実施している。
今回3月は、青果以外の商品(米、加工品等)とも連動した、「春の高知フェア」にあわせて、旬の果物・野菜を広く取り揃えて販売した。
特に、特設棚にてイチゴ・メロンを中心に陳列し、実施した。
- (5) 販売品目 : 別紙明細のとおり
- (6) 輸出スケジュール : 船便1便(ETAシンガポール3月20日)
および航空便2便(ETAシンガポール3月22日および3月29日)

春の高知フェア





納品一覧表

高知フェア

輸送方法	分類	商品名	箱重量(kg)	数量(箱)		
船便 (ETA0320)	fruit	小夏	5.0	2		
		きんかん	3.8	6		
		ゆず	1.5	5		
		すいか	10.0	3		
	Vegetable	みょうが	2.0	3		
		細いしょうが	3.0	3		
		ぶなしめじ	6.0	6		
		甘藷(西山きんとき)L	5.0	6		
		甘藷(西山きんとき)M	5.0	6		
		甘藷(西山きんとき)500g	10.0	5		
		ししとう	1.5	8		
		土佐甘とう	1.5	3		
		アスパラガス	5.0	2		
		大葉	2.0	2		
		青ねぎ	4.2	4		
		はすいも	4.0	2		
		新しょうが	3.0	3		
		航空便 ETA0322.&0329.	Fruit	メロン	9.0	4
				いちご(おおきみ)	0.5	24
Vegetable	こねぎ(やっこねぎ)		3.0	4		
	にら		5.0	4		
	なす		12.0	4		
	きゅうり		5.0	8		
	小なす		0.7	20		
	米なす		2.5	8		
	ピーマン		9.0	4		
	赤ピーマン		3.0	9		
	パプリカ		5.0	4		
	ミニトマト		4.8	4		
	ミディトマト		4.0	6		
	トマト(シュガートマト)		1.5	4		
	春菊		4.0	8		
	みつば		1.0	10		
	せり		1.4	6		
	ゴーヤ		3.0	6		
	ズッキーニ		2.0	10		

2. フェアの成果及び今後の進め方

(1)高知・沖縄を中心として、多種類のアイテムを提案した。特に 野菜は、「南国土佐」らしく春野菜を豊富に取り揃えることで、この時期シンガポールでは入手しづらい商品を陳列した。

(2)前頁の通り多種類の果物・野菜を取り揃えた中で、果実類では化粧箱のイチゴ、アールスメロンを前面に押し出しPR。

(3)昨年と比べ、航空便1回を1回増やし、全3便にて対応することで、鮮度向上を図った。

(バイヤーの評価)

- ・日本の他産地では、品目数の少なくなりがちな3月にもかかわらず、高知・沖縄などを中心に多くの品目数を、調達することができた。
- ・イチゴ化粧箱は、見た目も良く、贈答用に適してイいる。

3. 今後の進め方

例年、同店が3月に行なう「高知フェア」は春の風物詩的な位置付け。年間を通して気候変動少なく、季節感の乏しい同国の駐在員等に「春」を演出できる。

3月という、冬と春の端境期で青果物のアイテム数少ない時期に、細かい野菜も含め、多くのアイテムを取り揃えられる高知を中心に次年度も、旬の果実・野菜を中心に試食販売を行い、それら常連顧客をつなぎとめていくとともに、さらにローカル顧客へ日本産農産物のアピールも意識し、認知度を広げて行く。